

# 2020年度 「キャンパスライフに関するアンケート調査」

Doshisha University Campus Life Survey Academic Year 2020

調査結果ダイジェスト

(調査実施期間：2021年1月25日～2月24日)



同志社大学  
Doshisha University

[発行]2021年6月 [作成・お問い合わせ] 同志社大学 学習支援・教育開発センター ☎075-251-3277 ✉ji-kyoik@mail.doshisha.ac.jp



# 2020年度「キャンパスライフに関するアンケート調査」結果概要

## コロナ禍の学びの実態

秋学期の通学頻度(週に数回以上、大学に通学した学生の割合)



▶ 1・2年次は7割以上が、3年次は約6割が週に数回以上、通学している。

秋学期に履修した科目のうち、1科目以上は、全15回の授業を対面形式で受講した学生



▶ コロナ禍でも、1・2年次は7割以上が、3年も6割以上が対面授業を経験。なお、オンデマンド型の授業は、ほぼ全員が受講経験をもつ。

一度で理解できなかった講義動画を、再視聴したことがある学生



▶ ほとんどの学生が、講義動画を少なくとも1回は繰り返し視聴。ネット配信授業によって、反復学習がしやすくなった。

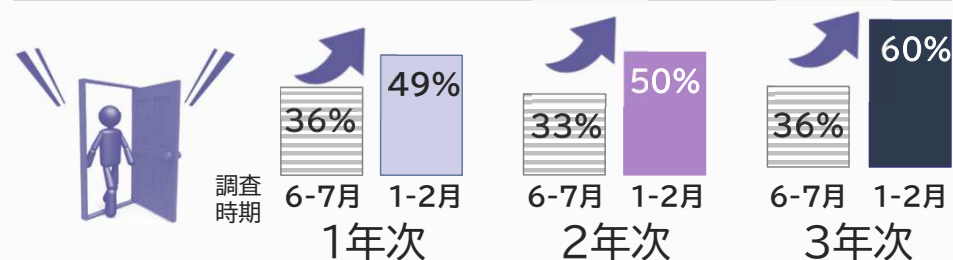
ひんぱんに、講義動画を視聴しそびれたりため込んだりした学生



▶ オンデマンドだと、自分のペースで学習できる反面、先延ばしにすると後で痛い目に遭うことも。

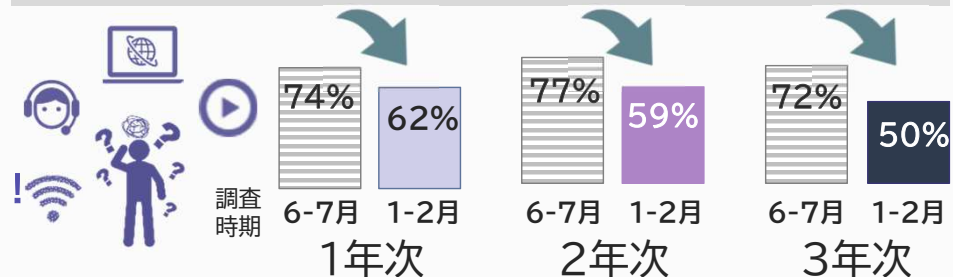
## 2020年度の授業への取り組み状況の変化

授業への参加実感をもっている学生



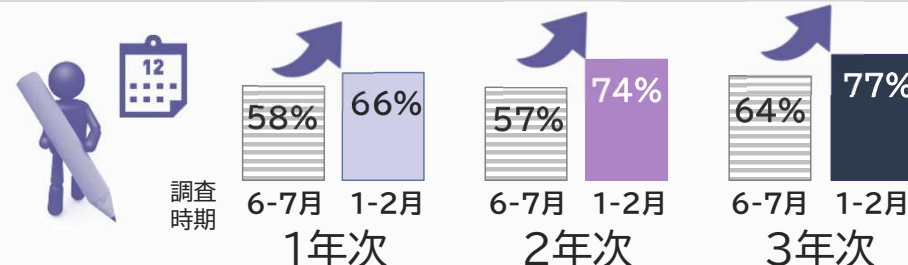
▶ ネット配信授業中心だった春学期(6-7月)より、対面授業とネット配信授業を併用して授業を実施した秋学期(1-2月)のほうが、授業への参加実感は高い。

科目によってネット配信授業の提供方法(Zoom、YouTube、Teamsなど)が違い、接続や設定に戸惑うことが多かった学生



▶ 授業ツールの違いに戸惑う学生は、減少傾向。

自分なりに計画を立てて、勉強や研究に取り組んでいる学生



▶ 授業のオンライン化に慣れてきたのか、計画的に勉強に取り組む学生が増加。

# 2020年度「キャンパスライフに関するアンケート調査」結果概要

## 授業以外の場面も、学びや自己成長の一部分

### 平均活動時間(1週間あたり)

授業時間外  
の学習



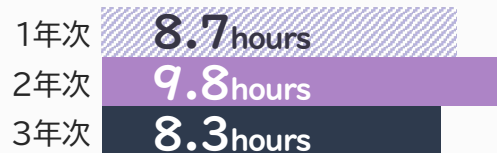
読書



クラブ・  
サークル活動



アルバイト



- ▶ 1年次は、勉強と読書に熱心に取り組んでいる。
- ▶ 2年次は、相対的に、クラブ・サークル、アルバイトといった課外活動に熱心。

週に1回以上、家族や友だちと話したり、  
電話・SNSで連絡を取り合ったりしている学生



- ▶ 定期的になれかとながっているが、孤独感をもつ学生は4~5割を占める。

## 大学で見つけた「志」で、新たな未来をつくりだす

“大学で学ぶことは楽しい”と感じている学生



- ▶ 知的好奇心が学びの第一歩。そこから出会いや発見が生まれる。

授業内容を、他の授業で学んだ知識・考え方や、  
世の中で起こっている出来事・問題と関連づけて考えた学生



- ▶ 「生きるために学び、学ぶために生きよ」(D.W.ラーネット博士)

ものごとの問題点を発見する力が、身についたと感じている学生



- ▶ 教養と専門性を培いながら、広く大きな視野でものごとを理解し、考えよう。

自分の意見を筋道立てて主張できる力の高まりを、  
実感している学生



- ▶ 自由にものごとを考え行動することで、自分のなかにある創造力を高めよう。

# 2020年度「キャンパスライフに関するアンケート調査」実施概要

## □ 調査趣旨

- ▶ 「キャンパスライフに関するアンケート調査」は、1年次、3年次を対象として実施している本学独自の学修行動調査である。本調査は、学生が本学の教育にどのように取り組み、自身の学びをどのように受けとめているのかを、学生自身に自己評価してもらう形式で質問することで、本学の教育の実態や学生の学びの現状に加え、学年進行にともなう学生の成長、学年による違いも把握できるような調査設計になっている。毎年度、秋学期終了時に調査した結果を収集・蓄積したデータにもとづいて、より良い教育プログラムを開発することを企図している。
- ▶ 2020年度は、調査対象者を拡大し、2年次対象調査も実施した。本学では、コロナ禍における学生たちの学びの実態を把握し、今後の学びや研究の機会と環境の維持・拡充に資する教育支援および学生支援の施策を検討するために、春学期後半の6-7月と秋学期開始直後の10月、2回にわたって臨時学生調査をおこなった。秋学期終了時に実施する本調査を、第3次臨時学生調査として位置づけ、夏季、秋季、冬季の3時点の調査結果を比較し、2020年度内の短期的な推移も調べられるようにした。

## □ 主な調査項目

- ▶ ①回答した学生のプロフィール(所属学部・学科、入試区分、大学入学前の第1志望先、通学区分、通学時間など)
- ▶ ②正課内外の学びへの取り組み(授業経験、ネット配信授業の長所・短所、授業内外の学習状況、生活時間、クラブ・サークルへの加入状況など)
- ▶ ③学びの受けとめ方(能力・スキルの獲得実感、大学への適応感、教育満足度、生活実感など)
- ▶ ④卒業後の希望進路

## □ 実施方法と実施期間

- ▶ 2019年度までは、紙媒体の調査票とWEB調査(学内LMS「e-class」を利用)を併用して実施していた。しかし、2020年度は、さまざまな授業でネット配信授業を導入しているため、調査対象者全員に紙媒体の調査票を確実に配付できるとは限らなかった。そこで、2020年度はすべてWEB調査で実施した。
- ▶ 2020年度秋学期の授業全体をふり振り返りながら、本調査に回答してもらう必要があったため、講義期間終了(1月26日)の前日から調査を開始した。回答期日は、秋学期の定期試験終了日(2月16日)から、約1週間後に設定した。

	1年次	2年次	3年次
調査対象者	2020年度生全員	2019年度生全員	2018年度生全員
調査実施期間	2021年1月25日～2月24日		
調査実施方法	WEB調査		
有効回答数	1,038件	260件	318件
有効回答率	17.1%	4.3%	5.0%